



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月30日

上場会社名 大井電気株式会社
 コード番号 6822 URL <https://www.ooi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 石田 甲
 (氏名) 田中 繁寛
 TEL 045-433-1361

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	9,633	13.0	356		328		191	
2019年3月期第2四半期	8,522	9.0	1,062		1,007		665	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 256百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 743百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	148.73	
2019年3月期第2四半期	517.06	

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	16,382	6,949	37.0
2019年3月期	17,143	7,205	36.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 6,061百万円 2019年3月期 6,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,800	9.9	280		400		330		255.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	1,470,000 株	2019年3月期	1,470,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	178,089 株	2019年3月期	180,218 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	1,290,561 株	2019年3月期2Q	1,286,931 株
------------	-------------	------------	-------------

(注)当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、雇用・所得環境に改善がみられ緩やかな回復基調が継続しております。しかしながら、世界経済につきましては、中国や新興国における景気減速、米国大統領の経済・貿易政策の動向、日韓関係悪化等により先行きが不透明な状況が継続しております。

当社をとりまく市場動向につきましては、主要顧客である電力業界における原子力発電所の稼働停止等による発電コスト増大の影響が長期にわたり継続しております。またスマートメーター・スマートグリッド関連機器への投資は、電力自由化に伴う需要増は一巡しておりますが、第5世代移動通信システム(5G)の普及、IoT技術に対する社会的な関心の高まり等、当社の新規ビジネス参入の機会が見込まれます。

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、情報通信機器製造販売及びネットワーク工事保守が共に堅調に推移したため、96億33百万円(前年同期比13.0%増)となりました。

損益につきましては、情報通信機器製造販売において好採算案件が上期に集中したこと等により、営業損益は3億56百万円の損失(前年同期比7億5百万円の損失減)、経常損益は3億28百万円の損失(前年同期比6億78百万円の損失減)、親会社株主に帰属する四半期純損益は1億91百万円の損失(前年同期比4億73百万円の損失減)となりました。

以下、セグメントの概況をご報告いたします。

〔情報通信機器製造販売〕

スマートグリッド関連機器が減少したものの、スマートメーター関連機器及び防災システム関連が増加したため、売上高は前年同期より13.6%増の51億34百万円となりました。セグメント損益につきましては、好採算案件が上期に集中したため一時的に利益率が向上したこと、また期初より取り組んで参りました材料費、外注費、経費、人件費の効率化や削減等の利益改善策が一定の効果を上げたことにより42百万円の損失(前年同期比6億49百万円の損失減)となりました。

〔ネットワーク工事保守〕

電気通信設備及び電気設備の据付工事並びにキャリア向け通信線路工事及び保守が増加したため、売上高は前年同期より12.4%増の44億98百万円となりました。セグメント損益につきましては、3億17百万円の損失(前年同期比69百万円の損失減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資 産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ7億60百万円減少し163億82百万円となりました。これは主に、仕掛品が19億94百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が23億88百万円減少したことによります。

(負 債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ5億4百万円減少し94億33百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が4億26百万円増加したものの、未払金が7億3百万円減少したことによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2億55百万円減少し69億49百万円となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純損失1億91百万円の計上により減少、非支配株主持分が1億27百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、事業の関係から、情報通信機器、工事保守の完成引渡し第4四半期連結会計期間に集中しているため、第1四半期から第3四半期における各連結会計期間の売上高に比べ、第4四半期連結会計期間の売上高が多くなるといった季節的変動がありますが、今般は特にスマートメーター・スマートグリッド関連機器の売上が通年を通して平準化されていることから、同変動が緩和する傾向にあります。

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、前回発表(2019年5月15日付発表)の内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,380,100	3,001,038
受取手形及び売掛金	5,371,721	2,983,115
電子記録債権	372,951	369,948
商品及び製品	427,519	487,436
仕掛品	2,765,107	4,759,259
原材料及び貯蔵品	297,699	451,667
その他	256,531	141,593
貸倒引当金	△5,157	△2,321
流動資産合計	12,866,472	12,191,738
固定資産		
有形固定資産	2,473,534	2,411,007
無形固定資産	392,556	349,266
投資その他の資産		
その他	1,411,483	1,431,620
貸倒引当金	△856	△856
投資その他の資産合計	1,410,626	1,430,763
固定資産合計	4,276,716	4,191,037
資産合計	17,143,189	16,382,776

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,071,334	2,497,743
電子記録債務	86,588	71,481
短期借入金	150,000	150,000
未払法人税等	35,973	29,471
未払消費税等	104,256	25,781
賞与引当金	745,487	631,897
役員賞与引当金	3,000	—
工事損失引当金	1,069,000	1,216,061
その他	2,109,514	1,332,567
流動負債合計	6,375,154	5,955,005
固定負債		
役員退職慰労引当金	30,494	24,354
退職給付に係る負債	3,363,023	3,292,863
資産除去債務	84,781	84,781
その他	84,494	76,386
固定負債合計	3,562,794	3,478,385
負債合計	9,937,948	9,433,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,708,389	2,708,389
資本剰余金	1,402,573	1,401,317
利益剰余金	2,784,971	2,592,217
自己株式	△557,707	△551,119
株主資本合計	6,338,226	6,150,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147,532	154,008
退職給付に係る調整累計額	△296,683	△243,784
その他の包括利益累計額合計	△149,150	△89,775
非支配株主持分	1,016,165	888,356
純資産合計	7,205,241	6,949,385
負債純資産合計	17,143,189	16,382,776

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	8,522,097	9,633,106
売上原価	7,358,535	7,942,827
売上総利益	1,163,562	1,690,279
販売費及び一般管理費	2,225,936	2,046,693
営業損失(△)	△1,062,374	△356,414
営業外収益		
受取利息	523	812
受取配当金	11,545	12,222
受取賃貸料	28,694	15,929
貸倒引当金戻入額	4,207	2,836
その他	11,850	8,764
営業外収益合計	56,821	40,566
営業外費用		
支払利息	751	514
為替差損	—	4,371
支払補償費	—	6,000
その他	1,178	2,004
営業外費用合計	1,930	12,890
経常損失(△)	△1,007,483	△328,739
特別利益		
投資有価証券売却益	10,263	—
特別利益合計	10,263	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△997,220	△328,739
法人税等	△228,112	△12,055
四半期純損失(△)	△769,107	△316,683
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△103,681	△124,737
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△665,426	△191,945

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△769,107	△316,683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,895	4,558
退職給付に係る調整額	39,884	55,956
その他の包括利益合計	25,988	60,515
四半期包括利益	△743,119	△256,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△640,782	△132,570
非支配株主に係る四半期包括利益	△102,337	△123,597

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△997,220	△328,739
減価償却費	223,355	205,203
株式報酬費用	3,843	4,972
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,207	△2,836
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,321	△113,589
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,000	△3,000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△13,330	△6,140
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△63,956	△14,202
工事損失引当金の増減額(△は減少)	293,413	147,061
受取利息及び受取配当金	△12,068	△13,035
支払利息	751	514
投資有価証券売却損益(△は益)	△10,263	—
売上債権の増減額(△は増加)	3,362,075	2,500,900
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,044,819	△2,208,037
その他の資産の増減額(△は増加)	105,773	80,662
仕入債務の増減額(△は減少)	154,637	412,091
未払消費税等の増減額(△は減少)	△194,921	△93,306
その他の負債の増減額(△は減少)	△482,371	△836,621
その他	△200	5,151
小計	311,168	△262,951
利息及び配当金の受取額	11,997	13,036
利息の支払額	△643	△523
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△65,739	△8,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	256,782	△258,473
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△50,000
有形固定資産の取得による支出	△101,903	△69,338
有形固定資産の売却による収入	95	23
有形固定資産の除却による支出	△832	—
無形固定資産の取得による支出	△43,133	△38,785
投資有価証券の取得による支出	△18,438	△3,727
投資有価証券の売却による収入	19,800	—
貸付けによる支出	△200	△2
貸付金の回収による収入	776	431
その他	7,927	857
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135,906	△160,540
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	—
リース債務の返済による支出	—	△706
自己株式の取得による支出	△1	—
配当金の支払額	△64,263	—
非支配株主への配当金の支払額	△4,212	△4,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	△368,476	△4,918
現金及び現金同等物に係る換算差額	325	△5,129
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△247,275	△429,062
現金及び現金同等物の期首残高	3,811,509	3,370,100
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,564,233	2,941,038

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	情報通信機器 製造販売	ネットワーク 工事保守	
売上高			
外部顧客への売上高	4,521,022	4,001,074	8,522,097
セグメント間の内部売上高又は振替高	124,893	156,586	281,479
計	4,645,916	4,157,661	8,803,577
セグメント損失(△)	△691,419	△386,827	△1,078,247

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,078,247
セグメント間取引消去	15,872
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,062,374

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	情報通信機器 製造販売	ネットワーク 工事保守	
売上高			
外部顧客への売上高	5,134,267	4,498,839	9,633,106
セグメント間の内部売上高又は振替高	118,604	181,273	299,878
計	5,252,871	4,680,113	9,932,985
セグメント損失(△)	△42,221	△317,175	△359,397

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	△359,397
セグメント間取引消去	2,982
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△356,414

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。